

(トピック型) プログラム 活動(ユニット)案 「給食1・2」

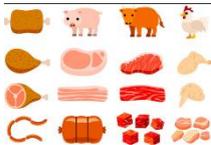
プログラム名	トピック型日本語プログラム	
授業名	給食1・2	
対象児童・生徒	(○) 小低 (◎) 小中 (○) 小高 () 中学生 ◎:主な対象 ○対象	
時間	(25) 分 × (2) 回	
形態	(◎) 少人数グループ (○) 個別 ◎想定する形態 ○実施可能な形態	
日本語の力 (ことばの力の ものさしで)	・身近な物についての簡潔な質問に、主に単語で答えることができる (聞く・話す) ・ひらがなを概ね読んだり、書いたりすることができる (読む・書く)	
	[聞く・話す] ステップ1	[読む] ステップ1 [書く] ステップ1
	[聞く・話す] ステージC	[読む] ステージC [書く] ステージC
目標 (Can-do)	給食について、好きか嫌いか話したり、食べる量の希望を伝えたりすることができる	
既習事項	好き/好きじゃない、野菜や果物の名前 (にんじん ジャガイモ たまねぎ りんご すいかなどなじみがある野菜の名前)	
語彙・表現	語彙 (太字を目標とし、他 は紹介程度とする)	食べる/食べない 飲む/飲まない 給食 ごはん パン 牛乳 おかず スープ/味噌汁 多い/少ない
	表現	・いただきます ・ごちそうさまでした ・減らして/増やして (ください) ・おかわり (ください) ・でも
コア日本語 (文型・文 法/語彙)	文型・文法: ・動詞辞書形・ない形 ・動詞て形+ (ください) 語彙: 多い、少ない (形容詞) 給食メニュー (子どもが良く食べる献立)	
主な活動	学習活動	学習方略
	1回目 さまざまな食べ物/飲み物について食べる/飲むかどうか、また、給食の献立について好きか嫌いかやりとりをする。	・絵カードから選んだり、組み合わせたりして話すことを決める。 ・知りたい言葉を絵カードやジェスチャーなどで伝えて、日本語の言い方を聞き出す。 ・具体物を利用しながら、希望をことばで伝える。
	2回目 給食の量について自分の希望を伝える。	
主な教材	・絵(写真)カード: 給食、ごはん、パン、牛乳、おかず、野菜スープ/味噌汁 食べる、飲む、いただきます、ごちそうさまでした、多い/少ない ・ワークシート: 給食の献立(味噌汁/野菜スープ、カレー、魚の煮物等)の写真入り (電子端末のアプリ=ロイロノートなどの活用も可) ・教具 ペーパーサート「○/×」、「⇒(矢印)」のプレート	
実施上の留意点	・教師からのインプットとしては「～を食べる」「でも、好きじゃない」のように、助詞や接続詞を省略せずに聞かせるようにする。ただし、児童の実態に合わせて、会話(アウトプット)では、助詞や接続語を省略してもよい。	
アイデア	<児童生徒の多様性への対応> ・学校や児童の実態に応じて、「おかわり」を学んでもよい。また、「増やして・減らして」も、「多目・少な目」などの言い方に変更して実施する。 ・宗教上の禁忌の他、アレルギーがある児童には、そのことを周囲に理解してもらう活動も実施する。	
	<他のプログラム・教科との関連> ・トピック型の活動「学校の日」の学習で「給食」を学んでから行う。 ・時間があれば、好きなもので給食の献立を考える活動等に発展させられる。	

本資料の利用について 教育・研修を目的とした利用に限ります。資料としてご利用を希望する場合は、コンテンツの出典として「利用する資料等の作成者・執筆者」「利用する資料等が作成・公開された事業名」「コンテンツが示されているウェブサイトのURL」を明記して利用してください。部分的な切り取りや加工をして利用することは禁じます。

活動案 【給食1】

本時の目標 給食について好き嫌いを伝えたり、質問したりすることができる(聞く・話す)			
時間	活動の展開	活動を行うための表現	○教材 ◇教師の支援 △留意点
5分	<p>導入</p> <p>1 食べるもの/飲むものについて話す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Tの質問に答える <p>・絵カードを選んで「食べるか、飲むか」を言う。</p>	<p>T: (食べ物の写真を見せて) 食べる? (PS○を示す) 食べない? (PS×)</p> <p>S1: (×を出して) 食べない。 S2: (○を出して) 食べる</p> <p>T: (飲み物の写真を見せ) 飲む? 飲まない?</p> <p>S1: 飲む S2: 飲まない</p> <p>(Sが絵カードを取って)</p> <p>S1: 食べる/食べない。 S2: 飲む/飲まない。</p>	<p>○動詞カード(食べる/飲む)、食べ物・飲み物の写真(イラスト)、○×ペープサート(以下PS)</p> <p>△この段階では、動詞のみの応答でよい。</p> <p>○食べ物・飲み物カードは児童が選ぶように、並べて置く。 △自分で発話できない場合は、食べる? 食べない? と尋ねる。</p>
15	<p>展開</p> <p>2 給食時の挨拶を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵カードを見て、表現をリピートする。 <p>3 給食について、食べるか、飲むか話す。</p> <p>4 給食の献立について、食べるか食べないか、好き嫌いについて話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べるかどうか質問に答える。 ・好きかどうか質問に答える。 ・食べるか、好きか質問に答える。 	<p>T: (絵カードを見せ) 給食。 S: 給食。 T: いただきます。 S: いただきます。 T: (絵カードを見せ) ごちそうさまでした。 S: ごちそうさまでした。</p>  <p>T: 給食を食べる? S: 給食を食べる。 T: (牛乳の絵を示し) 牛乳を... S: 牛乳を飲む。</p> <p>T: (献立表を示し) 今日の給食は何ですか? S1: 野菜スープ T: 野菜スープを食べる? S1: 野菜スープを食べる。 S2: 野菜スープを食べない。 T: 野菜スープが好き? 好きじゃない? S2: 好きじゃない T: (児童が選んだ献立で) みそしるを食べる? 好き? S1: みそしるを食べる。好き。 T: 先生は、みそ汁を食べる。でも、好きじゃない。</p>	<p>○絵カード(給食、いただきます、ごちそうさま)</p>  <p>△宗教的配慮として、手を合わせることを強いないようにする。</p> <p>△「助詞」をうまく言えない場合は、「給食、食べる」等でもよしとする(以下同じ)。</p> <p>○献立表: 絵とひらがな表記があるもの ◇日付や献立表の絵、ひらがなを指して促す。 △汁物も「食べる」とする。</p> <p>◇「○・×」ペープサートを利用させる。</p> <p>○給食の献立の写真カード(味噌汁 野菜スープ カレー 魚料理 肉料理) △教師の例で「でも」の理解を促す。</p>
5	<p>まとめ</p> <p>5 給食について質問し合う。</p>	<p>S1: 魚を食べる? 好き? S2: 魚を食べる。魚が好き。 S2: 牛乳を飲む? 好き? S1: 牛乳を飲む。(でも) 牛乳が好きじゃない。</p>	<p>◇児童に質問をするよう促す。教師も、児童の質問に答える。</p>
評価対象と方法		活動5で、給食について、食べるかどうか、また、好きか嫌いかを伝えたり、質問したりすることができたか。	

活動案 【給食2】

本時の目標 給食の量の多少について発言し、増減について希望を伝えることができる (話す)			
時間	活動の展開	活動を行うための表現	○教材 ◇教師の支援 △留意点
5分	<p>導入</p> <p>1 給食の献立を「好き」か「好きじゃない」かに分ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表に「好き」「好きじゃない」を書く。 ・分類して、写真を表に貼る。 	<p>T: すき (WSに書く)。</p> <p>S: すき (といいながら自分のWSに書く)</p> <p>※「好きじゃない」も同様にする</p> <p>T: ごはんが好き? (写真を渡す)</p> <p>S: ごはんが好き。(表に貼る)</p> <p>T: おかず。魚のフライが好き?</p> <p>S: 好きじゃない。(表に貼る)</p>	<p>○ワークシート (WS)</p> <p>○写真か絵のカード</p> <p>ごはん パン おかず みそしる / スープ 牛乳 野菜スープ カレー 納豆 魚のフライなど</p>
15分	<p>展開</p> <p>2 ごはんやおかずの量について、多いか少ないか話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・量の異なる献立の絵・写真を見て、「多い、少ない」の発話練習をする <p>3 給食の量について、自分の希望を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵カードの矢印を動かし「増やして」「減らして」と言う練習をする。 <p>・量の多少を見て、増やすか減らすか児童どうして希望を伝え合う。</p> <p>4 食べられないものを確認する。</p>	<p>T: (児童二人に量の異なるごはんの絵を渡す) どうぞ</p> <p>T: S1さん少ない。S2さん多い。</p> <p>S1・2: (リピート)</p> <p>T: (多いほうのご飯を指して)</p> <p>S1・2: 多い。</p> <p>T: (小盛りごはんの絵を渡し) どうぞ</p> <p>S1: 少ない。</p> <p>T: (矢印を動かしながら) 増やして、減らして、どっち?</p> <p>S1: 増やして。(矢印の操作)</p> <p>T: 少ない。増やして。</p> <p>S1: (リピート)</p> <p>※大盛りのごはんの絵で、同様に「減らして」を練習</p> <p>S1: (献立写真を見せ) どうぞ。</p> <p>S2: 多い。減らして。</p> <p>S2: (献立写真を見せ) どうぞ</p> <p>S1: 少ない。増やして。</p> <p>T: (スープの牛肉を指して) 牛肉。食べる?</p> <p>S1: 食べない</p> <p>T: 好きじゃない?</p> <p>S1: ヒンドゥ、牛肉、だめ。(ワークシートの「だめ(たべない)」欄に絵を貼り付ける)</p>	<p>○ごはんやおかずの多いものと少ないものの写真・絵</p> <p>△量の多いものと少ないものを、同時に見せて、一方を指さして、「多い・少ない」を理解させる。</p> <p>○「増やして」「減らして」の理解のための絵と矢印</p>  <p>○献立の写真例 (魚フライ)</p>  <p>○肉の種類がわかる絵</p>  <p>△宗教上の配慮が必要な児童が、食べられない食品を周囲に伝えられるようにする。</p>
5分	<p>まとめ</p> <p>5 量の希望等を伝える表現を確認し発話する。</p>	<p>S1: カレーが好き。少ない。増やして。</p> <p>S2: 魚が好き。増やして。牛肉、だめ。牛肉を食べない。</p>	<p>○導入で作ったWS</p> <p>◇SがWSを示して発話できるよう、PSや絵カードで促す。</p>
<p>評価対象と方法</p>		<p>活動3で 給食の量の多少について話し、希望する量の増減を伝えられたか。</p> <p>活動5で、給食の好き嫌い、量の多少、増減の希望についてWS(ワークシート)を見ながら発話できたか。</p>	

◎教材のヒント

- ・東京都教育委員会作成(教育庁グローバル人材育成部国際教育企画課日本語指導担当)
『日本語指導ハンドブック』

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/japanese/learning_japanese/guidance_japanese/handbook

- ・文部科学省「かすたねっと」にも教材が掲載されています。

『日本語指導ハンドブック その1(4課 給食・掃除・休み時間1)』

https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kyoiku/1_1_1_3

- ・『がっこうのほんご 絵カード200』 ココ出版 8-1いただきます(給食)

<https://cocopb.com/books/978-4-904595-45-9/>

本資料の利用について 教育・研修を目的とした利用に限ります。資料としてご利用を希望する場合は、コンテンツの出典として「利用する資料等の作成者・執筆者」「利用する資料等が作成・公開された事業名」「コンテンツが示されているウェブサイトのURL」を明記して利用してください。部分的な切り取りや加工をして利用することは禁じます。

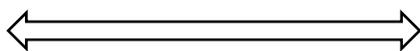
きゅうしょく

ふやして。へらして。

給食の写真



すき



すきじゃない



おかず



おかず



だめ (たべない)